

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

事業所名 博愛こども発達支援センターたくみのお城Ⅱ

公表：R5年2月21日

（重度心身障害児以外）

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である	8		大集団、小集団で活動できるスペースを確保しています	活動スペースの他にクールダウンできるスペースの確保に努めています
	2	職員の配置数は適切である	6	2	施設基準の遵守と利用人数に応じた配置を行っています	今後も徹底していきます
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8			今後も環境整備を行っていき、安全面での配慮をしていきます
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8		朝礼で連絡事項を確認し、参加出来ない職員は議事録を確認し周知しています	ミーティングに参加出来ない職員にもノートを活用しながら情報の共有を行っていきます
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8		年1回アンケートの実施を行い、意見や意向を頂くことで業務の改善につなげています	たくさんの意見を頂くことで業務内容や支援内容の見直しに努めていきます
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8		年1回アンケートを配布し、内容を職員と周知したうえでホームページに掲載しています	ホームページの存在を知らない保護者がいるので、再度お知らせしていきます。また、会報を発行し、周知していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8		実習生の受け入れなどで、外部評価を行っています	今後も実習生を受け入れ、意見などを聞きながら業務の改善に努めていきます
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		県や市から案内のあった研修には可能な限り参加をしています	職員への研修報告の徹底と法人内研修へ参加することでスキルアップに努めます
適切 な 支 援 の	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8		アセスメントシートを配布し、お迎え時に話しを聞きながら個別支援計画を作成しています	半年に1回アセスメントを行うことで、一人一人の状態の把握に努めます
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8		法人で統一した評価の様式を使用しています	評価を定期的に行いながら、適応行動の状況把握を行っていきます
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8		個人の特性に配慮した活動プログラムの作成を行っています	家族や本人の思いをくみ取り、多職種でカンファレンスをし、子どもたち一人一人にあった活動内容を検討しています

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
提供	12		8	職員や家族に様子を確認しながらプログラムの検討をしています	興味・関心の変化、自宅での様子を確認しながら新しいことに挑戦できるようなプログラムを検討していきます
	13		8	個々の特性に合わせた活動を提供し、評価を行っています	今後も放課後の時間帯に行えること、長時間過ごすことで見えてくる課題に応じた個別の課題を職員間で話し合いながら支援を提供していきます
	14		8	大集団や小集団での活動を組み合わせたプログラムを作成しています	個々の特性や興味関心に合わせ、時間に応じた活動の提供を行っていきます
	15		8	朝のミーティングで必ず確認をおこなっています	参加していない職員はミーティングノートを出社後、確認することを徹底しています
	16		8	ミーティングノートを作成し、その日参加しない職員も閲覧することで情報を共有しています	退社時間が異なるため、必ず打合せをすることは難しいが、ミーティングノートやカルテ記載を確認するようにしています
	17		8	個々のカルテを作成し、記録をとるようにしています	その日の様子や会議内容、連絡事項の記載を必ず行い、支援内容の統一や改善に努めています
	18		8	半年に1回計画の見直しを行っています	家族や支援事業所から情報を収集し、職員で検討しながら個別支援計画の変更を検討しています
	19		8	ガイドラインの内容に沿った支援を職員全体で行えるように研修を行っています	個々の特性に配慮しながら興味・関心の幅を広げて行けるように活動内容を検討し、生活動作の訓練や他者との関わり方を、遊び込みの中で支援していきます
	20		8	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	会議の内容は職員に報告し、状況の把握と支援内容の統一を図ります
	21		8	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	送迎時の対応は担当者会議で確認し、下校時にその日の様子を聞くようにしています。下校時間は、プリントを頂き確認するようにしています。また、ホームページを閲覧する事で行事等を把握しています

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	8		医療的ケアが必要な際は法人で検討しています	当法人で医師の診察を受けてもらい、医師の指示のもと必要に応じて、支援内容を検討しています
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8		会議などに出席し、情報提供を行っています	利用を検討している方の会議に出席し、現在の様子の確認、情報の共有に努めています
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8		会議などに出席し、情報提供を行っています	各事業所などと連携しながら情報の共有を行い、卒業後もスムーズに移行出来るように支援しています
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8			研修の案内があった際は可能な限り出席していきます
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		8	交流の機会はありません	建物の距離も離れているため、交流は難しい状況です。法人内の異年齢の交流は続けていき、今後外部へ出かける機会を設けることで子ども間の交流の場を作って行くことを検討します
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している		8		法人内で決まった職員が参加しているため、出席者が会議内容を伝達し職員全体で周知徹底しています
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		お迎え時や連絡ノートを活用し、様子などを伝えながら自宅での様子を確認しています	自宅や学校、他施設での様子を確認しながら情報の共有や支援内容の統一を図ります
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	2	日頃の会話を通して支援しています	今後ペアカフェの開催を検討していきます
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		変更があった際はパンフレットや変更内容を記載した用紙を配布している	お迎え時などにパンフレットを配布しながら変更点や不明な点の説明を行っています。バスでの送迎で直接説明が出来ない保護者に対してはお手紙を配布して、不明な点は電話にて説明するようにしています
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		お迎え時など、顔が見える支援を心がけています	日々の変化を確認しながら、悩みなどに真摯に対応するように努めています	
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		8	保護者会は開催していません	今後検討していきます	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8		玄関先に意見箱を設置しています	意見箱に投函がない時もお迎えの際に家族との会話で言われたことで苦情になりうることにに対しては、速やかに対応をしていきたいと思ひます
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		8	ホームページに掲載はしていますが、会報は発行できていません	今後、定期的にSNSや会報を発行して行く予定です
	35	個人情報に十分注意している	8		利用開始時に個人情報同意書の説明を行い、掲示の有無を確認しています	会報に使用する際は家族に再度確認を行い、個人情報の取り扱いに十分配慮していきます。また、書類の廃棄にはシュレッターを使用し、情報の流出に注意していきます
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		視覚支援などを取り入れながら情報の伝達を行っています	保護者とは連絡帳や送迎時に情報交換しており、障がいのある子どもに対しては、特性に合った方法で疎通を図るよう工夫しています
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		8	放課後の事業所の行事には地域の方を招待する行事の実施は行っていません	法人行事として、運動会や盆踊り大会などを実施の検討をしていましたが、今回は社会情勢を踏まえ見送っています。今後はその行事に積極的に参加をしていきたいと思ひます
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8		各マニュアルは策定しているが、保護者に周知できていない	今後は保護者の方へ会報を配ることや説明に努めていきます
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		月に1回、第3土曜日に避難訓練を実施しています	土曜日に利用しない方もいるため、避難訓練の実施を再検討し、平日の時間帯にも行うようにしていきます
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		研修会を実施し、共通認識を持って支援にあたっています	他害行為がある方に対してどう接するかなどを日々話し合いの機会を持ちながら支援の方法を検討しています
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8		身体拘束の必要がないため、記載はしていません	今後拘束が必要になった際は家族に相談しながら、個別支援計画を作成していきます
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8		利用開始時に家族への聞き取りを行って対応している	家族からの申告のみのため、当法人の医師に適時相談を行いながら対応しています
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8		法人で統一したツールを使用しています	事例を職員間で確認しながら再発防止に努めています	